

2025 年 11 月 27 日

各 位

会 社 名 フューチャー株式会社
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 金丸 恭文
(コード番号 4722 東証プライム)
問 合 せ 先 ファイナンシャル&アカウンティンググループ
執行役員 松下 恭和
(T E L (03) 5740 - 5724)

フューチャーアーキテクト、群馬銀行と協働で生成A I を活用した 新システム開発プロジェクト始動のお知らせ

当社の主要事業会社であるフューチャーアーキテクト株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：谷口友彦、以下フューチャーアーキテクト）は、2014 年に株式会社群馬銀行（本社：群馬県前橋市、頭取：深井彰彦、以下群馬銀行）へ導入した戦略業務系システム「F u t u r e B A N K」を次世代の戦略基盤へと進化させるため、2025 年 11 月より同システムと親和性高く連携する、生成A I を活用した新システムの開発を開始しました。

本件は、2024 年に群馬銀行と共同で開始した「融資業務領域における生成 A I 活用の実証実験」にもとづくプロジェクトです。「融資業務のプロセス全体をA I が伴走する」をコンセプトに、融資業務スキルを共有・活用できる仕組みを構築することで、業務品質の安定化と生産性向上を図ることを目指してきました。フューチャーアーキテクトは、この目標達成に向け、生成A I の業務への最適な組み込み方や有効な活用方法を支援しました。実証実験によりA I のチューニングを繰り返した結果、業務適用への有効性が確認されたため、この度、当社のA I エンジニアリング力とリソースおよび、群馬銀行の長年にわたる融資業務のノウハウを掛け合わせ、戦略業務系システム「F u t u r e B A N K」と連携する新たな生成A I 活用システムを開発します。融資業務のプロセスにおいて生成A I を自然と活用できるような機能を組み込むことで、お客様の業務のさらなる効率化と品質向上に貢献します。

本件の概要については下記をご覧ください。なお、本件は東京証券取引所の適時開示基準には該当いたしません。

記

1. 本件の概要

2 頁以降をご覧ください。

2. 業績への影響

本件は、2025 年 2 月 4 日にお知らせしました、「2024 年 12 月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の 2025 年 12 月期の連結業績予想に織り込み済みであり、当期の業績への影響は軽微であります。今後、公表すべき事象が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

以上

2025 年 11 月 27 日
フューチャーアーキテクト株式会社

フューチャーアーキテクト、群馬銀行と協働で生成 AI を活用した新システムを開発 融資業務におけるノウハウ継承と生産性向上を実現

フューチャー株式会社(証券コード:4722)の主要事業会社であるフューチャーアーキテクト株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:谷口友彦、以下フューチャーアーキテクト)は、2014 年に株式会社群馬銀行(本社:群馬県前橋市、頭取:深井彰彦、以下群馬銀行)へ導入した戦略業務系システム「FutureBANK」を次世代の戦略基盤へと進化させるため、2025 年 11 月より同システムと親和性高く連携する、生成 AI を活用した新システムの開発を開始しました。

群馬銀行は 2025 年 4 月に策定した中期経営計画『Growth with“Purpose”』の基本方針として、「DX・業務改革」「データ利活用」「人的資本」といった持続的な成長を支える事業基盤の強化を目指しています。

フューチャーアーキテクトは、ビジネスコンサルティングからシステムの実装まで一貫して担えることを強みに、AI などの先端テクノロジーを積極的に採用しながら様々な業界のお客様の DX を推進しています。なかでも金融領域では、全国 30 行を超える地域金融機関にコンサルティングサービスをはじめ、独自開発したフルオープン API 勘定系「次世代バンキングシステム」や、戦略業務系システム「FutureBANK」を提供しています。

本件は、2024 年に群馬銀行と共同で開始した「融資業務領域における生成 AI 活用の実証実験」にもとづくプロジェクトです。「融資業務のプロセス全体を AI が伴走する」をコンセプトに、融資業務スキルを共有・活用できる仕組みを構築することで、業務品質の安定化と生産性向上を図ることを目指してきました。フューチャーアーキテクトは、この目標達成に向け、生成 AI の業務への最適な組み込み方や有効な活用方法を支援しました。実証実験により AI のチューニングを繰り返した結果、業務適用への有効性が確認されたため、この度、当社の AI エンジニアリング力とリソースおよび、群馬銀行の長年にわたる融資業務のノウハウを掛け合わせ、戦略業務系システム「FutureBANK」と連携する新たな生成 AI 活用システムを開発します。融資業務のプロセスにおいて生成 AI を自然と活用できるような機能を組み込むことで、お客様の業務のさらなる効率化と品質向上に貢献します。

■生成 AI を活用した新たなシステム

1. 融資業務の AI ナビゲーション

行内のマニュアルや「FutureBANK」に蓄積された膨大な審査データを RAG*によって統合的に活用し、経験の浅い行員の融資業務を AI が伴走支援する的確なナビゲーションを実現します。AI エージェントを用いたワンクリックリサーチ機能により、決算書分析など複雑なリサーチプロセスを自動化します。これにより、行員の経験年数に関わらず安定した品質での業務遂行を支援し、融資ノウハウの次世代への継承を促進します。

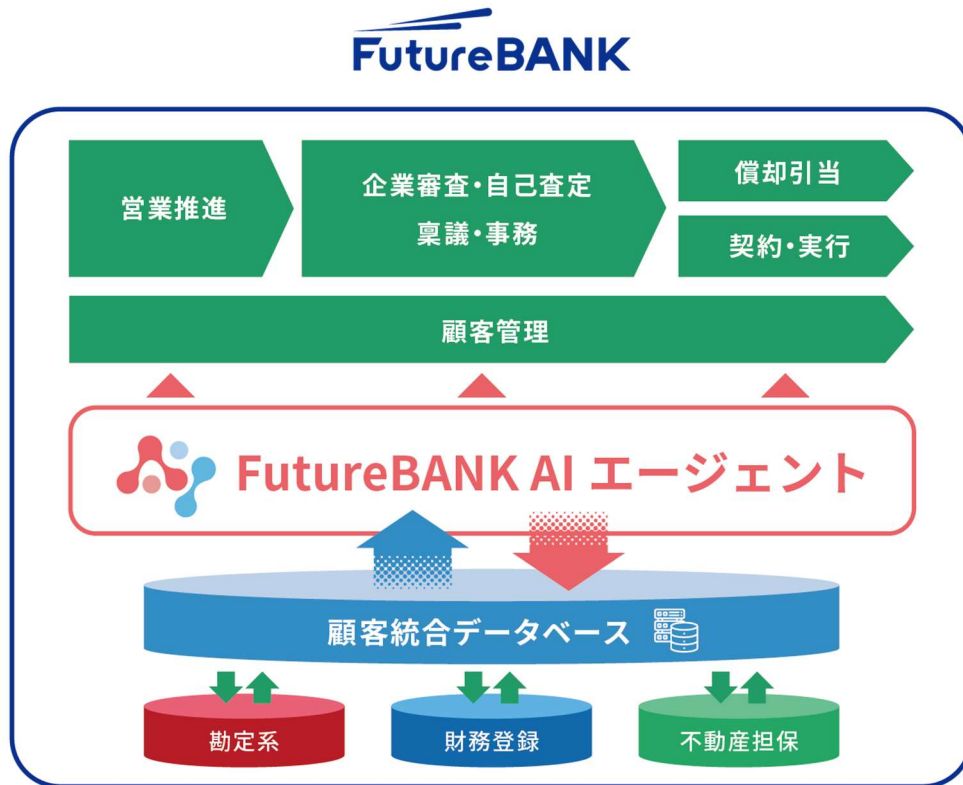
2. アナログ資産のデジタル化とナレッジ活用

これまではデータ化できていなかった決算書の科目明細などを生成 AI で読み取り、データ化します。これにより、銀行資産のさらなる活用を図るとともに、アナログ作業を代替し生産性を向上させます。さらに、データ化された情報を、SQL エージェントを用いて自然言語で横断的に検索できる環境を整備します。誰もがデータにアクセスして活用ができる「データの民主化」を進めることで、銀行組織全体のナレッジ活用を推進します。

「FutureBANK」を基盤とした AI 組込型のデジタル業務プロセスへの進化は、データの継続的な収集・蓄積と、データがもたらす価値を AI で更に拡大する「自律的な AI 活用サイクル」を確立します。

フューチャーアーキテクトは、先端的な AI の学術研究・研究開発を強力に推し進めるとともに、構想から実装まで一気通貫で支援する AI コンサルティングサービスを提供しています。当社の強みである AI 専門チームの技術力と、長年の経験に基づく融資業務への知見、さらに広範な業務範囲をカバーする「FutureBANK」から得られる豊富なデジタルデータを用いて、お客様の DX を加速させます。今後もお客様の経営戦略の実現や社会課題の解決に向け、経営と IT をデザインし未来に新たな価値を創造します。

※RAG: Retrieval-Augmented Generation の略。大規模言語モデル (LLM) によるテキスト生成に、外部情報の検索を組み合わせることで、回答精度を向上させる技術のこと。



■FutureBANK とは

全国 30 行以上の地域金融機関に提供する「システム」と「コンサルティングサービス」をもとに開発した戦略業務系ソリューションです。顧客統合データベースを基盤とし、融資業務を中心に営業管理をはじめ契約管理や収益管理、生産性分析まで金融機関の店舗運営に必要な一連の業務サービスを統合的に提供します。

https://www.future.co.jp/architect/our_service/solution/#futurebank

FutureBANK

* 参考プレスリリース

フューチャーアーキテクトと群馬銀行 融資業務領域における生成 AI 活用の実証実験を開始

https://www.future.co.jp/architect/press_room/PDF/PressRelease_FutureBANK_GenerativeAI_PoC_240708.pdf

■「FutureBANK」に関するお問い合わせ先

フューチャーアーキテクト株式会社 金融サービス事業部 加藤 https://www.future.co.jp/architect/contact_us

■本件に関する報道機関からのお問合せ先

フューチャー株式会社 広報：清水、石井 TEL:03-5740-5721

お問い合わせフォーム：https://www.future.co.jp/apps/contact/corp/press_interview_entry.php